

宮古港竜神崎地区防波堤 ケーソン進水のお知らせ

釜石港湾事務所では、宮古港出崎地区の静穏度を高めるため、竜神崎地区に防波堤を建設しております。

宮古港のケーソンヤード*は、昭和5年に当時の最高技術の粋を集めて建設された施設で、その進水方式は「斜路方式」（ヘッド式：放物線形の斜路に滑りやすい植物油を塗り、ソリに載せて滑らせる）と呼ばれるもので、ケーソン*の重量を利用した自重落下により進水する。

ケーソンが海中を猛スピードで滑走する迫力満点の光景を目の当たりにすることが出来ます。

※小樽港にも同様なケーソンヤードがあり、平成21年度土木学会選奨土木遺産に選定されるほど大変貴重な港湾施設となっている。

※ケーソンの大きさは、長さ10.0m×幅10.5m×高さ9.8mで3階建てビルに相当します。
(重量：約750t)

【ケーソン進水概要】

- ◆日時：(第1回) 平成21年12月24日(木) 8時30分～9時00分
(第2回) 同上 25日(金) 8時30分～9時00分
- ◆場所：宮古市港町ケーソンヤード内

【注意事項】

- ◆当日、荒天等により中止・延期される場合がありますので予めご了承下さい。
- ◆進水時の波などで危険が伴いますので、撮影等は現場職員の指定する場所をお願い致します。

＜発表記者会＞

宮古記者クラブ

【問い合わせ先】

東北地方整備局 釜石港湾事務所

宮古港出張所長 さとう かずとし 佐藤 和敏

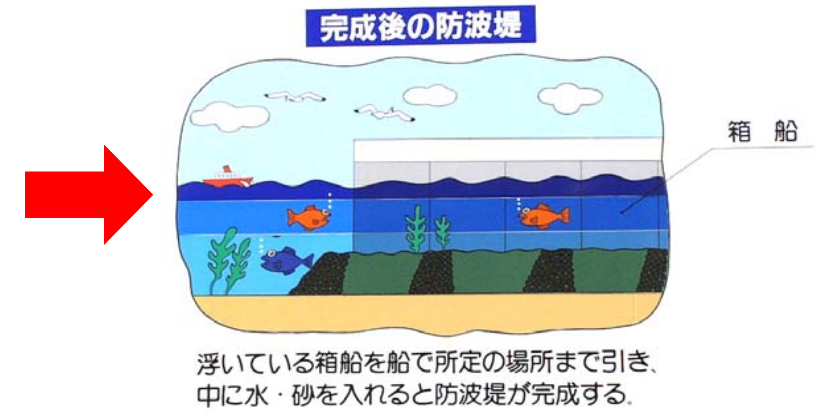
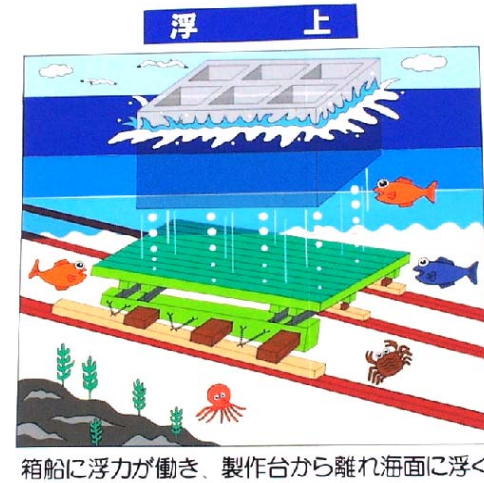
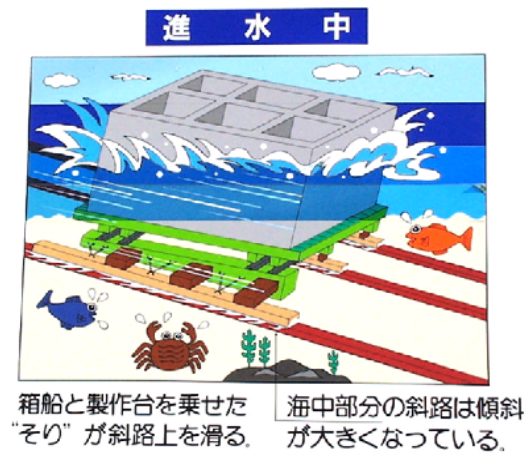
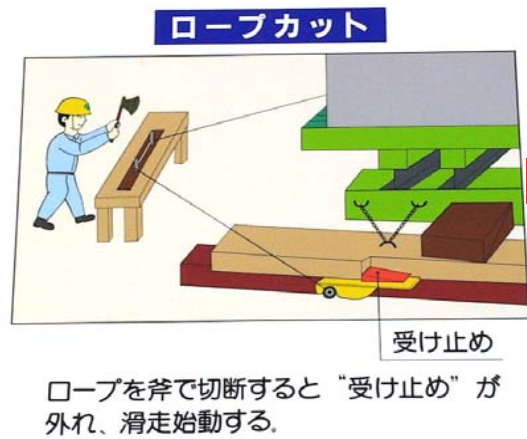
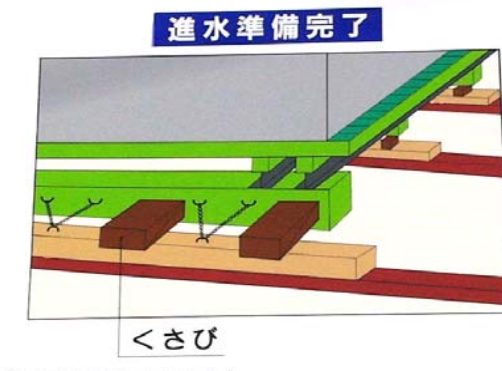
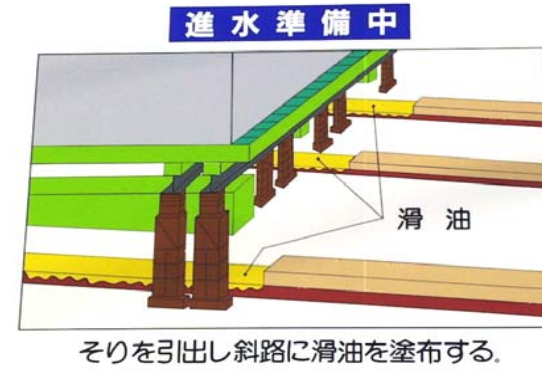
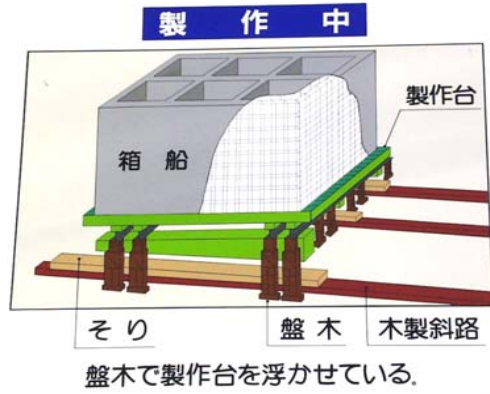
電話0193(62)2911

(当日：080(1823)0112)

・・・進水方法の詳細は別添をご覧ください。

宮古港ケーソン（箱船）進水のあらかし

箱船製作台と箱船を海に運ぶ（進水）装置のしくみ



作業場の構造と能力

- 構造形式／スリップ方式
- 製作能力／・製作最大寸法 長15.3m×幅10.0m×高12.0m
- ・製作最大重量 960t

- 主施設要目／・斜路の長さ 98.5m(木製)
- ・クレーン能力 5t吊り 1基
- ・函台重量 52t/函

当製作場の特徴

ここで使用している進水装置は昭和初期において、当時の最高技術をもって建造されたもので全国的に例をみない歴史的施設となっています。動力に頼ることなく、自然運動を利用した進水は猛スピードで箱船が海中を滑走し、迫力満点の光景を目にすることができます。

※ 絵は現地に掲示しているパネルを実写したものです



〈陸上の函台部で製作されたケーソンは、海上に向けて敷設されたレールの上を自重落下で進水される〉